

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるような体制づくりに取り組んでいます。

薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

ひまわり

第29号 令和3年3月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

令和2年度第2回川薩地区在宅医療推進リーダー会議



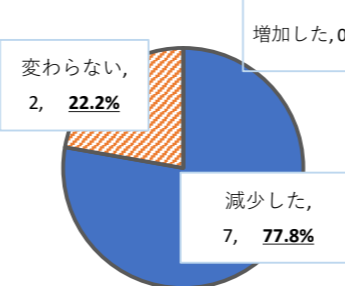
令和3年2月10日(水)川内看護専門学校会議室に於いて、オンライン参加11名、会議室参加20名(事務局含む)で開催いたしました。今回は、オンライン会議導入後2回目となり、専任で画像、音声担当をお願いしたことで、「とても聞き取りやすく、画像も発言者に焦点があってスムーズな進行だった」と評価していただきました。会議では、主に介護人材不足について、各事業所への聞き取り調査結果と委員アンケートに基づき意見交換を行いました。「全体図を見た上で本当に不足しているか分析が必要である。地域包括ケアシステムの中で在宅医療を進めるには、自助、互助、共助、公助、ボランティア利用したり、横の関係の繋がりが必要ではないか」他多数のご意見を頂きました。また、訪問介護サービスの提供状況について令和3年度より在宅医療提供状況調査に合わせて実施することとなりましたので、ご協力よろしくお願いいたします。

介護人材に関する聞き取り調査(令和2年12月)の結果 (一部抜粋)

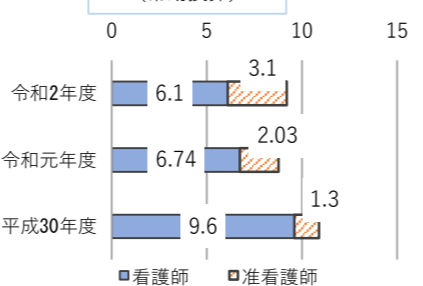
【事業所数の動向】

		訪問介護	訪問看護
薩摩郡医師会	令和3年1月	9	3
	平成29年	12	3
		居宅	小規模
	令和3年1月	15	7
	平成29年	16	6

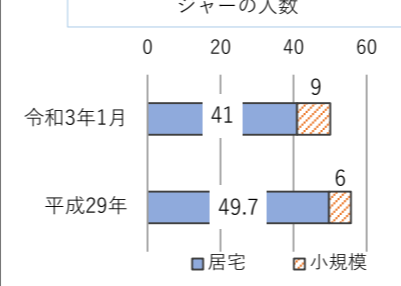
訪問介護事業所における最近3年間での職員数の変動について



訪問看護に従事する看護師・准看護師数(常勤換算)



居宅介護支援事業所・小規模多機能居宅介護事業所に所属するケアマネジャーの人数



第4回目の今回は、薩摩郡薬剤師会副会長の岩元先生にお願いいたしました。原稿の依頼は2度目になります。ご協力ありがとうございました。

薬局薬剤師と多職種との連携深化について

薬局薬剤師は、多職種の皆様との連携をより深め、患者さんの薬物治療をしっかりサポートしていきたいと考えております。その上で、2点取り組んで行きたい事項をご紹介します。まず1点目は、「地域包括ケアシステムの構築に資する会議」への薬剤師の積極的な参加です。これに該当する会議は、以下になります。

- ・サービス担当者会議
- ・地域ケア(個別)会議
- ・退院時カンファレンス 等



これらの会議に薬剤師も参加していないわけではありませんが、まだまだ少ないと感じております。各会議を開催される際には、ぜひ薬剤師にもお声掛けをお願いいたします。

2点目は、**薬剤師が把握した情報の提供**です。得た情報をきちんと繋ぐことが大事だと考えております。以下のようなケースで、必要に応じて医療機関等に(在宅患者については居宅介護支援事業所等にも)情報提供・報告をしています。

- ・在宅患者さんへ訪問服薬指導を行った場合
- ・服用期間中に服用状況や残薬、副作用の疑いのある症状等を聞き取った場合(吸入剤、インスリン製剤、SU剤、抗がん剤等の使用患者へのフォローも含む)
- ・複数医療機関を受診して、多剤服用している場合
- ・医師の指示による分割調剤を行った場合(2回目以降)
- ・入院した場合(退院時は病院薬剤師より薬局へ情報提供あり) 等

これらは主治医の指示にて行うものと、薬剤師の判断で行うものがあります。もし、薬剤師のフォローが必要な患者さんがおりましたら、訪問や電話等による服薬確認や指導等を実施いたしますので、是非、ご指示や情報提供くださいますようお願い申し上げます。



薩摩郡医師会病院の訪問診療に同行して



令和3年2月24日より薩摩郡医師会病院の訪問診療を開始された方の第2回目の訪問日(3月10日)に同行させて頂きました。主治医は、令和2年4月から医師会病院に地域枠医師として派遣された東祐大先生と相良久治院長です。東先生にあんしん医療連携シートも記載していただきましたので持参し、ご家族にあんしん医療連携シートの取り扱い方法やMCS(さつまるネット)の説明を行い承諾を頂きました。東先生は、令和3年3月にはご移動になるそうです。お世話になりました。次の勤務先でのご活躍をお祈りいたします。

さつま町におけるあんしんカプセルの活用状況

さつま町人口	65歳以上高齢者数	一人暮らし高齢者数	見守り対象者数	災害時要援護者数	緊急連絡票配置数	あんしん医療連携シート記載者数
20,521人	8,428人	1,739人	1,450人	549人	1,754人	139人

※引用資料：令和2年度緊急連絡票・あんしん医療連携シート対象者名簿(さつま町高齢者支援課作成)

令和2年医療連携シート活用状況(さつま町消防本部より情報提供)

覚知月	事故種別	搬送先	シート種別
1月	急病	薩摩郡医師会病院	医療連携シート
4月	一般負傷	クオラリハビリテーション病院	緊急連絡票
4月	急病	クオラリハビリテーション病院	緊急連絡票
5月	急病	薩摩郡医師会病院	医療連携シート
8月	急病	川内市医師会立市民病院	医療連携シート
9月	急病	薩摩郡医師会病院	医療連携シート
10月	急病	県立北薩病院	医療連携シート

※令和2年年間搬送件数：1056件(内転送を除いた件数：832件)

令和3年3月8日現在、さつま町における一人暮らし(または見守り対象者)で**あんしん医療連携シートおよび緊急連絡票が記載されていない高齢者は1,111名おられます。**救急搬送件数に対してまだまだ情報シートを持参しての搬送件数も少ない状況です。緊急連絡票、あんしん医療連携シートの記載推進と薩摩川内地域の安心キットの活用状況把握が今後の課題です。